

「東京医科歯科大学献体の会」会員ならびにご関係の皆さまへ

臨床解剖学分野では、以下の研究を行っております。皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

研究課題名：肛門周囲膿瘍（肛門括約筋内膿瘍）に対する超音波検査による研究

東京医科歯科大学医学部倫理委員会承認番号：第 M2021-397 番

研究期間：医学部倫理審査委員会承認後から 2027 年 3 月 31 日まで

研究目的：

肛門周囲膿瘍は内外肛門括約筋間にある肛門腺の感染により膿瘍を形成し、肛門周囲（内外肛門括約筋間や、坐骨直腸窩）に進展すると考えられています。そして、炎症が改善しても肛門から肛門周囲構造に瘻孔を形成し痔瘻になります。その際、内外肛門括約筋や縦走筋に炎症が波及することなく膿瘍が周囲組織に進展し、痔瘻を形成するように考えられています。現在もよく使われている Parks 痔瘻分類は痔瘻の進展が筋肉に炎症が波及しないことを前提に作成されています。近年、超音波装置や MRI 機器の発展により肛門周囲膿瘍を画像により評価できるようになってきました。肛門周囲膿瘍の超音波検査を日常的に行うと、内肛門括約筋、縦走筋、外肛門括約筋内に膿瘍を認めると考えられる症例を経験します。それは、今まで考えられている肛門周囲膿瘍の進展形式とは違う経路が存在していることを意味します。超音波検査で描出される構造物を解剖学的に同定することで、膿瘍の存在部位を証明することができれば、今後痔瘻の解明に大いに寄与できると考えています。

研究の対象：

本研究で用いる解剖体は、すべて生前に「東京医科歯科大学献体の会」に入会された方のご遺体 10 体です。その尊いご遺志に深く感謝するとともに、医学、歯学の教育ならびに研究に用いるという献体法（医学及び歯学の教育のために献体に関する法律）ならびに死体解剖保存法の精神を遵守して行って参ります。また、研究の実施に当たっては、日本解剖学会が定めた「解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドライン」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従って行います。

研究の内容：

本学臨床解剖学講座にて保存されている解剖体 10 体を用いて、超音波検査を行い超音波画像作成後、

同部位を切り出し比較検討します。また、同様の肛門構造の切り出しを行い、組織学的検討を行います。その研究をもとに、森山記念病院で超音波検査を行った肛門周囲膿瘍の画像検討を行います。森山記念病院からは2016年より2021年までに超音波検査を施行した肛門周囲膿瘍138例中125例（年齢中央値40歳[14～82歳]、男性120例、女性5例）の肛門超音波検査の代表的画像および統計処理後のデータの提供を受けます。本研究が提供する解剖学的知見が、痔瘻の診断治療の向上、および術後の機能温存を目指した手術の発展に貢献できると考えています。

この研究により一定の成果がえられた場合には、その結果を学会や論文で発表しますが、写真閲覧時に匿名化を行い、解剖体の個人を特定できる情報は使用いたしません。登録解剖体の同定や照会は、登録時に発行される登録番号を用いて行います。登録にあたっては、識別番号を設定します。参照した画像等は、匿名化の後、臨床解剖学医局にて10年間厳重に保管し、研究終了後に適切に扱わせていただきます。

本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、利益相反マネジメント委員会に申告を行い、承認されています。またデータを二次的に利用する場合は新たな研究計画を立案し医学部倫理審査委員会で承認を受けるように致します。

なお、本研究に関してお問い合わせのある場合、下記宛先までご連絡ください。また、研究の途中であっても、解剖体の使用あるいは得られたデータの使用をお断りになる場合には直ちに本研究の対象から除外します。その場合にも故人および関係者の皆様の不利益となることは一切ありませんので、ご遠慮なくお申し出ください。

研究責任者：東京医科歯科大学大学院 臨床解剖学分野 秋田恵一

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803-5390（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）

苦情・相談窓口：

東京医科歯科大学医学部総務係

電話：03-5803-5096（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）